

奄美野生生物保護センター
 ニュースレター

奄美の風だより

センター & 協議会 News

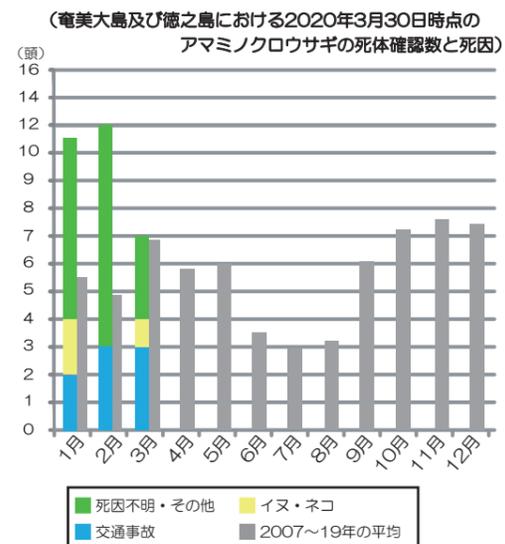
外来植物チラシの配布について

奄美野生生物保護センターでは、奄美大島と喜界島、沖永良部島の各島に生育している外来植物のチラシを作成し、各島で配布を行っています。繁殖力が強く駆除を優先したい外来植物についての紹介やその適切な駆除方法、情報提供のお願い、法律で栽培や運搬などが規制されている特定外来生物のについて紹介しています。外来植物が生育していると在来のさまざまな動植物たちに影響を与えます。地域のみならずと適切に駆除を行っていきたく思いますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



センターからのお知らせ

アマミノクロウサギ死体確認数



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

残念なこと、今年も多くの動物たちが交通事故で命を落としています。動物たちを守るためにも特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないこと、ペットの健康を守ることにあります。

マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

外来種対策

奄美の生態系を守るため、外来種駆除と監視にご協力をお願いします。

今の時期に見られる動植物



キキョウラン

本州から琉球列島に分布する。海に面した崖地や岩場、まれに砂地に生える。青紫色の花を下向きにつける。



クサシギカズラ

本州から琉球列島に分布する。海岸の草地や岩場に生える。葉は退化していて、その代わりに葉のような枝を出す。



ウスカワマイマイ

日本各地に分布。家の庭など人里に生息している。殻のサイズは20mm程度。体の色がすけてみえる。殻の斑模様は個体差がある。



アリグモのなかま

クモのなかまで、ハエトリグモ科アリグモ属になる。奄美群島には3種以上のアリグモの仲間がいると言われている。



アマミマドボタル

オキナワクシヒゲボタル

今季の一枚 「春に発生するホタル」

春に発生するアマミマドボタルとオキナワクシヒゲボタル。アマミマドボタルは、奄美大島と徳之島で確認されています。オキナワクシヒゲボタルは、奄美亜種で、奄美大島で確認されています。2種ともにオスは日中に活動しメス探しをするので、発光器を持たず光りません。また、オスの触角が発達しているのはメスの出すフェロモンを探知するためです。触角のかたちには違いがあり、オキナワクシヒゲボタルは、くし状に両方から出ています。アマミマドボタルは、鋸歯状になっています。ホタルは夏の夜に光りながら飛びイメージでしたが、日中に活動し光らないホタルもいるのです。

奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

今回は 喜界町 です



喜界町は、奄美群島最北に位置する周囲約 50kmの島で、世界でも3本の指に入る隆起速度を誇る隆起サンゴ礁の島です。

【電舌蘭】

長い歳月をかけて様々な環境や気象条件に耐え、一度だけ花を咲かせるという根強さにあやかって、喜界町の町花に定められています。

喜界町の木

おすすめの観光名所「百之台／キビ畑の一本道／巨大ガジュマル」

【百之台】
喜界島は年平均 2mm という世界的にもトップクラスのスピードで隆起してきた隆起サンゴ礁の島で、百之台は、10 万年前まで海の中でしたが、10 万年の歳月をかけ、現在の高さ (211m) まで隆起してきました。
目の前に広がる広大な太平洋線は丸みを帯び、南国情緒溢れる植物群が彩る風景は穏やかな癒しの空間で、奄美十景のひとつに数えられます。周辺一帯は、奄美群島国立公園に指定されています。(空港から 20 分)



▲百之台

【キビ畑の一本道】
サトウキビが基幹作物の喜界島では、一面にキビ畑が広がる風景を至るところで見ることができます。中でも島の北部にある、まっすぐな一本道は見応え十分で、インスタ映えも狙えます。夏には地下ダムのスプリングラーが織りなす虹のアーチが真っ青な空に映え、思わず駆け出したくなる気持ち良さです。(空港から 15 分)



▲キビ畑の一本道

【巨大ガジュマル】
手久津久集落にあるガジュマルは、高さ 17.7m、幹周り 16m、枝張りの直径 42m と大きく、樹齢 100 年を超えるといわれています。どっしりとした幹から四方にバランスよく伸びている枝は、理屈ではない美しさを感じることができ、木漏れ日が差すと、神秘的な雰囲気にも包まれ、自然を体いっぱい感じることができます。(空港から 10 分)



▲巨大ガジュマル

(喜界町役場企画観光課)

センターの新メンバーの紹介

奄美野生生物保護センターに2人の新メンバーが加わりました！鈴木さんは、前任の水田さんの後任として、また後藤さんは離島希少種保全専門官という新しいレンジャーとして着任しました。

鈴木真理子 (すずきまりこ)

出身：千葉県
前職：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室プロジェクト研究員



今年の目標
朝型人間になりたい！
(調査日以外は)
【調査対象と同じく夜行性で、寝坊が多いので改めたいです】



高橋マサキ(レンジャー)と一緒に



たんかん倉庫調査の1コマ

鈴木さんからみなさんへメッセージ

奄美大島に5年も住んでいますが、この職に就いて「まだまだ奄美群島の自然について知らないことばかりだな」と気づかされました。専門は哺乳類の行動や生態ですが、そのほかの動植物についてもぜひ知りたいので、皆さんのお持ちの情報をお寄せください。また、皆さんの知りたいこと・疑問に思っていることは、奄美の自然を守るヒントかもしれません。ぜひ、お気軽にお尋ねください。一緒に解決しましょう！これからも、奄美群島の野生動植物の魅力をみなさんに知ってもらい、この自然を未来につなげていけるような調査・研究を続けていきたいです。センターで、山で、海で、皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

希少種保護増殖等専門員

希少種の保護増殖にかかわる調査・研究を主な仕事としています。奄美群島には希少な野生動植物がたくさんいるので、名前や生態を勉強するのに苦労しています。希少な野生動物はさまざま危険にさらされています。交通事故や観光利用圧、外来種です。それらの対策の調査などにも関わっています。研究としてはアマミノクロウサギの生態調査を継続しています。

プライベートなお話

好きな食べ物：発酵食品全般
好きな動物：フクロウの仲間、ネコ科動物などなど
趣味：絵を描くこと。テレビドラマを見ること。好きな料理を作って好きなだけ食べること。

離島希少種保全専門官

まだ奄美に赴任したばかりですが、今後は主にノネコやマングースなどの外来種対策や密猟・密輸対策に関わっていく予定です。



後藤雅文 (ごとうまさふみ)

出身：青森県
前職：東京都レンジャー (東京都自然保護指導員) 小笠原父島地区

プライベートなお話

好きな食べ物：お好み焼きを作って、クラフトビールを飲むのが最高！
趣味や挑戦したいことなど：旅行、さんぽ、植物探検。奄美の植物をたくさん見たいです。



好きな言葉
Just do it !!

後藤さんからみなさんへメッセージ

皆さんこんにちは、後藤です！奄美に赴任する前は小笠原諸島父島に住んでいました。小笠原から西へ約1200km、こちらに来て思ったのは、飛行機が飛んでる！島が広い！そしてなにより、生き物が多い！面白い！！この独特な自然を、奄美に暮らす皆さんがこれからずっと世界に誇れるように尽力していきますので、どうぞよろしくお願ひします。ちなみに、個人的には植物が好きなので、奄美群島だけにしか生育していないようなランやシダをたくさん見てみたいと思っています。島のどこかで出会ったら、何でも気軽にお声かけくださいな。



小笠原で一番好きだったオオササギのゲラ

ンガロンゴロ自然保護区でジャンプ！

